

仏・パリ市立アル・サン・ピエール美術館 「アール・ブリュット ジャポネⅡ」展 (株)ビーハッピー従業員の作品が展示決定

株式会社 山田養蜂場(本社：岡山県苫田郡鏡野町 代表：山田英生)グループの特例子会社である、株式会社ビーハッピー(本社、代表：同上)の従業員 山根 暁(やまね あきら)が創作した作品が、パリ市立アル・サン・ピエール美術館で2018年9月8日(土)から開催される「アール・ブリュット ジャポネⅡ」展への出展が決まりました。

フランスから同美術館の館長が来日し、作品を選定した日本人作家52名の内の一人に選ばれました。



山根の作品は、プラスチック製のバインダーファイルを切り取った部品を組み合わせたロボットのフィギュアで、あらゆるポーズをとることができる精巧な作りです。

創作を始めたのは、3、4歳のころからで、アニメや漫画を参考に、独自の発想と工夫によってオリジナルのロボットを作っています。

◀山根が制作したロボット

<制作者コメント>

海外、特にフランスでの展示ということで、驚くと同時に、大変嬉しく思っています。

多くの方に観ていただくことができる機会を与えてくださったことに感謝しています。

今後は、ロボットをさらにグレードアップさせ、バトルシーンを再現したり、バイクや車などの乗り物なども制作していきたいと思っています。



山根 暁(やまね あきら) 21歳
岡山県鏡野町出身
(株)ビーハッピー従業員

創作は3、4歳から始め、中学に入ってから独学でロボットを作成するようになる。
創作は自宅で行い、家庭にある材料で精巧なロボットを作成する。

■展覧会概要

- ◇タイトル：ART BRUT JAPONAIS Ⅱ (アール・ブリュット ジャポネⅡ)
- ◇場所：HALLE SAINT PIERRE (パリ市立アル・サン・ピエール美術館)
- ◇期間：2018年9月8日(土)～2019年3月10日(日)
- ◇作家：日本人作家52名

■「アール・ブリュット ジャポネⅡ」展開催背景

仏・パリ市は、姉妹都市提携を結んでいる都市と、毎年共同事業を開催しています。東京都も姉妹都市の一つであり、2018年は「パリ東京文化タンデム2018」と題して、様々な事業が両国において展開されています。「アール・ブリュット ジャポネⅡ」展は、その一貫として開催されることが決定しました。

日本のアール・ブリュット作品展は、同じ会場で2010年にも行われ、約9ヶ月の開催期間中に約12万人の観客が来場するという、大きな反響があった展覧会です。本展覧会は、国を越えて、障害の有無に関係なく、人間の創造性の可能性を感じる機会となることを目的としています。

■アール・ブリュットとは

正規の美術教育を受けていない人々が伝統的な文化や社会の潮流に流されることなく、独自の発想と方法により制作した作品のことを指し、画家のジャン・デュビュッフェが1945年に提唱した概念です。

◇本件に関するお問い合わせ◇

株式会社山田養蜂場 文化広報室 関 (ts0975@yamada-bee.com)、秦 (kh1967@yamada-bee.com)
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL：0868-54-1906 FAX：0868-54-3346